

科目名	言語文化		1学年・必修	使用教科書	第一学習社 高等学校 標準語文化	
			単位数：2単位	使用副教材	『新版完全征服 新出題現代文重要語700 三訂版』 『読んで見て覚える 重要古文単語315 三訂版』 『基礎から解釈へ 新しい古典文法 四訂新版』 『基礎から解釈へ 新しい古典文法 漢語ノート 四訂新版』 『基礎から解釈へ 漢文必修 四訂版』 『基礎から解釈へ 漢文必修 四訂版チェックノート基本編』	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 					
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業ではノートを使用します。各自で用意して下さい。●授業で取り扱う「課題」には、個人でもグループでも、積極的に参加し、最後までできちゃり抜いて下さい。●各者査では平均点の半分未満（平均点60点の場合、29点以下）の人を対象に、「追加課題」を課すことがあります。●教科書とノートは毎回必ず持参して下さい。忘れ物をしてしまったときは、必ず朝のうちに職員室に来て申し出て下さい。●授業中の私語は周囲に迷惑をかける行為です、慎んで下さい。●学習の様子を見て、任意参加の補習授業を実施することがあります。もし、事前に希望がある場合には遠慮せずに申し出て下さい。●授業についていけず不安になった時は、遠慮せずに話して下さい。手立てを一緒に考えましょう。●授業に関する質問はいつでも受け付けていますので、遠慮せずに聞いて下さい。 					
学習評価	評価の観点		評価の観点の概要			
	I	知識・技能	言葉の特徴や使い方、我が国の言語文化について身につける。			
	II	思考・判断・表現	書くこと、読むことに関して身につける。			
他教科との関連性	該当する単元（教科）		教科横断的な視点や関連する学習活動の例（関連授業を行う場合はその内容）			
	平家物語		音楽 I	平家物語の冒頭を実際に弦楽器を用いて演奏することで、琵琶法師がどのように民間に流布させるに至ったかを体感させる。		
学期	月	単元名（教科）	記述時期	学習内容	評価方法と学習のポイント	Checklist 5.0
前期	4	古文入門「兎のそら寝」	5	古典の文章になれるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	歴史的仮名遣い、古文の仮名、文語と口語の違い、口語訳の留意点、古語辞典の引き方について理解できているかどうかで評価します。	学びに向かう姿勢
	5	古文入門「三文にて齒二つ」「なよ竹のかぐや姫」	9	古典の文章になれるとともに、古文における人物造型のおもしろさを読み取る。	品詞の種類、活用と活用形、仮定条件と確定条件、係り結びの法則、用言の活用について理解できているかどうかで評価します。	言語力
	6	漢文入門「訓読に親しむ（一）（二）（三）」	9	古典としての漢文を読むことの意義を知り、漢文を訓読するための基礎知識を習得する。	返り点、助字、置き字、再読文字について理解できているかどうかで評価します。	言語力
	7	小説を読む（一）「とんかつ」	2	謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。	話の構成と展開を理解しているか、せりふや行動から人物像と心情を読み取る事ができるかどうかで評価します。	他者理解
	8		3	謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。	話の構成と展開を理解しているか、せりふや行動から人物像と心情を読み取る事ができるかどうかで評価します。	他者理解
	9	随筆を読む 枕草子	8	自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。	内容を把握しているか、助動詞を理解しているかどうかで評価します。	言語力
	10	故事成語	5	漢文の訓読になれるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	内容を把握しているか、漢文を訓読できているかどうかで評価します。	言語力
	11	歌物語 伊勢物語	6	話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。	内容を把握しているか、和歌の修辞を理解できているかどうかで評価します。	情報活用能力
	12	漢詩の鑑賞	7	表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々がどのような思いを詩に表したかを読み取る。	内容を把握しているか、漢詩の決まりについて理解できているかどうかで評価します。	他者理解
後期	1	小説を読む（二）「羅生門」	4	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	話の構成と展開を理解しているか、せりふや行動から人物像と心情を読み取る事ができるかどうかで評価します。	他者理解
			4	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	話の構成と展開を理解しているか、せりふや行動から人物像と心情を読み取る事ができるかどうかで評価します。	他者理解
	2	和歌と俳諧	2	和歌の鑑賞の仕方を理解し、古典の和歌を現代の言葉で書き換えてみる。	和歌の修辞が理解され、現代の言葉で書き換えた際に理解された修辞が表れているかどうかで評価します。	思考・判断・表現力
			3	和歌の鑑賞の仕方を理解し、古典の和歌を現代の言葉で書き換えてみる。	和歌の修辞が理解され、現代の言葉で書き換えた際に理解された修辞が表れているかどうかで評価します。	思考・判断・表現力
3	平家物語	4	口語訳と原文を比較しながら、原文独特のリズム感を味わう。	実際に平家物語を弦楽器で演奏したものを聞いたり、演奏していただくことで音と言語が密接に関連していることを理解しているかどうかで評価します。	感受性	